

次期町議会議員選挙投票日が4月23日に迫ってきている。過去を振り返ると、早ければ12月末ごろから立候補者の看板が立ち始め、選挙ムードが次第に高まる時期となる。しかし、選挙まで2カ月余りとなる現在においても未だ選挙ムードとは言えない状況にある。

なり手不足が地方議会の切実な課題となっている中、本町における次の選挙がどのような状況となり、現職議員として今、何を行うべきかを考察する。



次期選挙に向け何を行うべきか、全議員で座談会を実施

**現職議員の多くが不出馬の意向**

昨年末、議員全員で「これからの新十津川町議会を考えると題した座談会を開催。そこで、現職議員の次期選挙に向けた現時点での意向を話し合った。その結果、半数以上の議員が次期選挙に不出馬の意向であることが分かった。時期的に確定ではないにしろ、今後の議会運営に不安と危機感を感じる状況であった。

**立候補者の選出に大苦戦！**

各議員はすでに行政区への相談や各団体などへの働き掛け、目ぼしい方への直接的な働き掛けなどを行ってきた。行政区においても、後継者選びに動き出しているところもあるが、なり手の選出にはどこも苦勞されているという状況である。

**現職議員が今、しなければならぬこと**

次期選挙まで2カ月余りとなり、次の新しい議会がより力強い議会になるよう、議員の経験者だからこそ伝えることができる「議員活動の魅力」「議会活動、選挙の具体的な内容」などを、議会や議員活動に興味のある方に伝え、立候補の後押しをする。

**欠員を回避し、選挙戦に！**

議会機能の維持のため、定員を11名として臨む次期選挙。何としても欠員を回避し、選挙により議員が選ばれるべきと考える。

**議会・議員の魅力、再発見！**

◎視野が広がり、キャリア、人生において貴重な経験となる

行政や地域の方などさまざまな関わりから、町づくりに対する広い視野が身に付くと同時に、議員でしかできない経験ができる。

◎仕事の成果が見えやすい

住民に一番身近な政治家として、地域の課題を直接行政と協議し、改善することが可能。自らの手で地域を良くしているという実感を得ることができる。

◎安定した収入

町村議会の報酬は、道議や市議の報酬と比べると大幅に低い状況。故に兼業が前提で議員活動を行うことが多い。これがデメリットと捉える考えもあるが、見方を変えると、これほど安定した兼業はないと言える。時間の融通が可能であれば大きな魅力と考える。

**立候補者が少ない要因**

◎議会、議員の魅力が住民に伝わっていない

議員になることのデメリットばかりが伝わる傾向から、議員になろうとする人がいないことが考えられる。

◎議員になることの情報不足

議員になったら、現状の生活や仕事にどのような影響が出るか。また、選挙に出るには何をどう準備しなければならないのかが分からない。

◎一人で手を挙げる勇気がない

興味があっても、背中を押してくれたり、推薦してくれる人がいないと手を挙げにくい。

◎議員活動をする余裕がない

現在の仕事を維持しながら議員活動をするには時間的余裕がなく、双方中途半端な状況になってしまう。

**興味がある方、お話しませんか**

2月、3月のかたるベサロンでは、私たち議員が議員の仕事内容や選挙の仕組み、議会活動を行いながら仕事をする方法など、経験者だからこそ語れる情報をお伝えします。議会や議員活動に少しでも興味のある方はぜひ、お越しください。また、個別での対応も行います。

『かたるベサロン』		
日時	場所	
2月11日(土) 10:30~12:00	改善センター	
2月24日(金) 13:30~15:00	役場3階サロン	
3月11日(土) 10:30~12:00	改善センター	
3月22日(水) 13:30~15:00	役場3階サロン	

【お問い合わせ 議会事務局 電話 76-3191】